

圃場整備事業

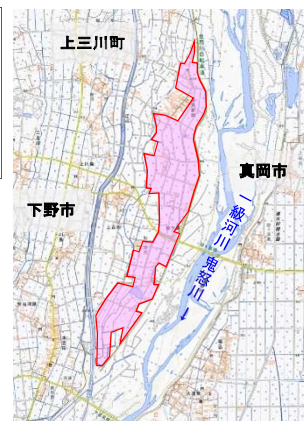
鬼怒川西部地区（平成 28(2016)年 3月完了）

1. 事業概要

本地区は、真岡市の西部に位置し、一級河川鬼怒川の右岸に開けた地形勾配 1/5100 程度のほぼ平坦な水田地帯である。農地整備が行われた年代は古く、農地の区画は小さく道路は狭小であるため大型機械の利用ができず、また水路も土水路であるため草刈りや泥上げなどの維持管理が大きな負担となっていた。

このため、農地の大区画化や農道の拡幅、用・排水路の整備など、総合的な整備を行うとともに、担い手への農地集積に取り組むなど、競争力の高い地域農業の実現に向け、生産コストの低減を図った。

事業名	県営農地整備事業	
事業主体	栃木県	
事業箇所	真岡市 谷貝新田・砂ヶ原 下野市 本吉田	
受益面積	90.3 ha	
受益者数	148 人	
整備内容	区画整理 90.3 ha	整地工 90.3 ha 用水路工 16.4 km 排水路工 11.8 km 道路工 11.5 m
事業費	11.5 億円 (国 50% 県 30% 市・地元 20%)	
事業期間	平成 17 年度～平成 27 年度	

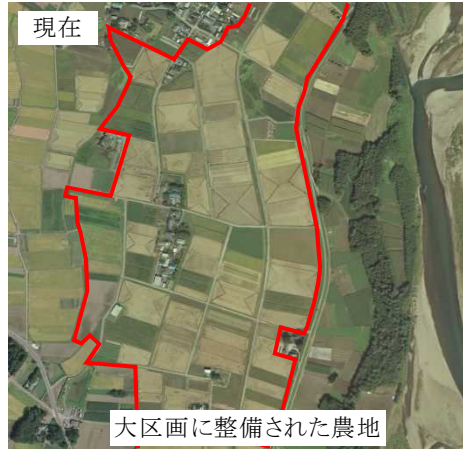


出典：国土地理院地形図をもとに栃木県作成



実施前

小区画な農地



現在

大区画に整備された農地

出典：国土地理院ウェブサイト「航空写真データ」(国土地理院)をもとに作成



整備された用水路と道路



整備された排水路

2. 事業の目的・必要性

○本地区は、水稻+野菜、水稻+麦+大豆を中心とした複合経営が主体であった。また、小区画な農地で分散していたため、経営規模の拡大に支障が生じていた。

○このため、大区画圃場整備により担い手への農地利用集積・集約化を進めるとともに、大型機械を利用して水稻の生産コスト削減を図り、収益性の高い農業を推進する。

3. 事業の整備効果等

(1) 事業費等の変化

項目	事業採択時(H17)	事業完成時(H27)	増減
受益面積	94.4 ha	90.3 ha	▲3.1 ha
総事業費	11.7 億円	11.5 億円	▲0.2 億円
工期	H17～H22	H17～H27	

受益面積は、地区の一部を除外したため、3.1haの減となり、これに伴い総事業費は、0.2億円の減となった。また、川流れ地の公図整理や行政界変更（真岡市・下野市）の調整等に不測の期間を要したため、工期が5年延長となった。

(2) 農地の大区画化

(単位：ha)

区画	実施前(H16)	現在(R3)	
1.0 ha 以上	1.0 (1.0%)	10.8 (12.0%)	} 56%
0.5 ～ 1.0 ha 未満	7.8 (8.2%)	39.9 (44.2%)	
0.3 ～ 0.5 ha 未満	12.9 (13.6%)	23.4 (25.9%)	} 82%
0.3 ha 未満	73.5 (77.2%)	16.2 (17.9%)	
計	95.2 ha	90.3 ha	

実施前の農地は 0.3ha 未満の小区画が 77%であったが、実施後は 0.3ha 以上の区画が 82%、0.5ha 以上の大区画が 56%となり、農地の大区画化が図られた。

(3) 農地の利用状況

○農作物の作付け状況

(単位：ha)

作物名	実施前 (H16)	現在 (R3)	増減
水稲	60.1	59.1	△1.0
飼料用米	—	9.0	9.0
麦、大豆	—	1.8	1.8
WCS (稲発酵粗飼料)	5.0	6.1	1.1
デントコーン	—	6.1	6.1
牧草	10.0	0.2	△9.8
たまねぎ	2.5	1.8	△0.7
その他の野菜等	2.5	2.6	0.1
管理休耕等	15.1	3.6	△11.5
計	95.2	90.3	

農地の大区画化や用水の安定供給により、担い手への農地集積・集約化、畜産農家(8戸)の自給飼料の生産が拡大し、飼料用米やWCS等の作付面積が増加した。
今後、主食用米からの作付転換を進め、飼料用米、麦、大豆、飼料作物(WCS, デントコーン)、露地野菜等の生産拡大を図っていく。

(作付け状況は土地改良区の調査)



飼料用米



WCS

(4) 営農の効率化

①経営面積の増大

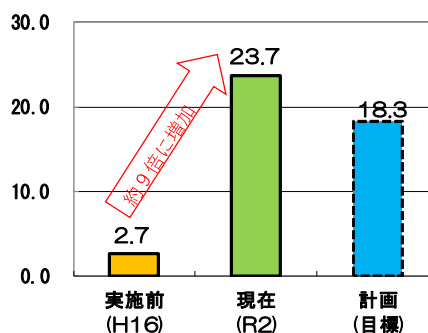
農地の大区画化等に伴う大型機械の導入によって、労働時間の短縮が図られ経営面積が拡大された。

(約 9 倍 (21.0ha) / 人の増)

(土地改良区の調査)

※経営面積には地区外含む

担い手の平均経営面積(ha/人)



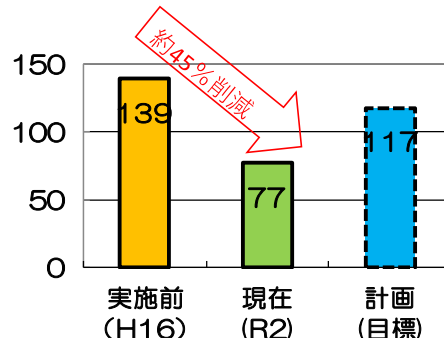
②維持管理費の縮減

水路や農道の整備により、掘ざらいや草刈りが軽減されるなど、維持管理費が削減された。また、揚水機の統廃合(8基→1基)により、維持管理費が削減された。

(約 45% (62 千円) / ha の減)

(土地改良区の調査)

施設の維持管理費(千円/ha)



(5) 農業構造の変化

①農業者及び担い手^{※1}

農業者数(経営農家数)は、事業実施前(H16)と現在(R3)では210人→148人と30%の減少が見られる。特に経営規模別の1ha未満の農業者は129人→82人と36%の大幅な減少となっている一方、5ha以上の経営を行う農業者は1人→8人に増加している。

担い手数は、事業実施前(H16)と現在(R3)では5人→9人に増加し、うち3人の担い手が20ha以上の経営規模に拡大している。

(単位:人)

経営面積 ^{※2}	農業者		担い手		うち後継者
	実施前 (H16)	現在 (R3)	実施前 (H16)	現在 (R3)	
20ha 以上		3		3	後継者有り 3人
10~20ha 未満					
5~10ha 未満	1	5		3	
1~5ha 未満	80	58	4	3	後継者有り 1人
1ha 未満	129	82	1		
計	210	148	5	9	後継者有り 4人

※1 担い手: 地域農業の中心的役割を担う経営体

※2 経営面積には地区外を含む

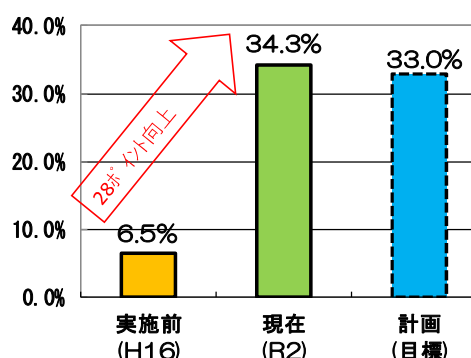
②農地利用集積

農地や用排水路、農道が整備されるなど農業生産の基盤条件が改善されたことによって、担い手への農地集積の割合が約28ポイント増加した。

(約 28ポイント (20.6ha) の増加)

(土地改良区の調査)

集積率(%)



(6) 効率的な土地利用計画

本事業は、農用地の確保や有効利用のほか、市道や県道用地など起業用地や生態系環境配慮施設等用地、公共施設用地などを創設することで効率的な土地利用計画の実現に貢献している。

用途	面積 (ha)	名称等
市道用地	2.0	
県道用地	0.4	県道笹原・二宮線
環境配慮施設等用地	1.6	生態系保全池、緑地等
その他	0.1	公民館、分家住宅
計	4.1	

4. 事業により整備された施設の管理状況

整備された水路などの土地改良施設は、清次郎口用水土地改良区により適切に管理されている。

なお、農道及び水路の草刈り等については、地先の耕作者が中心となり実施しているが、今後は多面的機能支払交付金などを活用した地域ぐるみの取組を検討している。



5. 事業実施による環境の変化

本事業で整備した農道は通学路や生活道路としても利用され、地域住民の利便性や安全性の向上が図られており、用地を創設した市道や公民館は地域生活活動の向上に寄与している。

また、本事業では環境配慮のための生態系保全池や緑地等の用地を創設し整備することで、地区内に生息する貴重な生物や景観を保全しており、自治会を中心として適切に維持管理されている。



6. 今後の課題等

- ・ 人・農地プランを踏まえた地域の営農構想を実現するため、農地中間管理機構を活用した更なる農地集積・集約化を推進するとともに、土地利用型農業の低コスト化を図るため、ICT を活用したスマート農業の導入を進めていく必要がある。また、畜産農家の経営強化を図るため、飼料作物の生産拡大をさらに推進していく必要がある。
- ・ 今後、主食用米からの作付転換がスムーズに図れるよう、地域の話し合いを進めながら、収益性の高い作物の導入を促進していく。

◆ [参考：アンケート調査結果について]

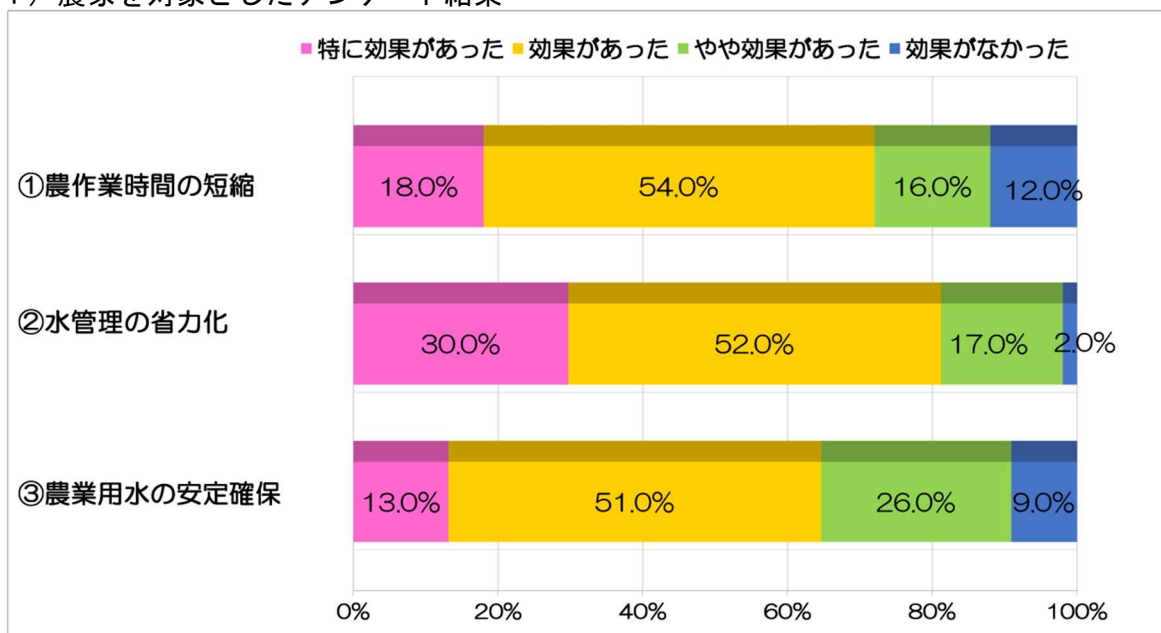
本地区内の農家、非農家を対象に事業実施に対する効果の発現状況について調査を行った。(令和3年7月実施)

配布戸数：148戸、 回答数：109戸、 回答率：74%

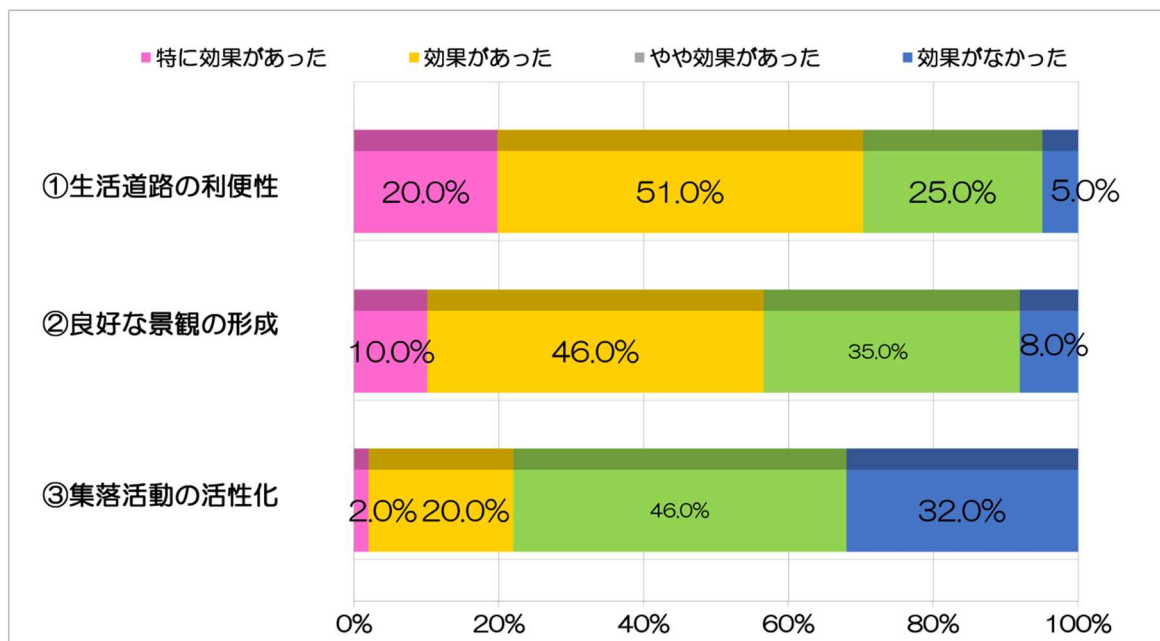
[アンケート結果での地域住民の事業に対する評価]

- ・ 農家からは、水管理の効率化や農作業時間の短縮、農業用水の安定確保に対して高評価
- ・ 非農家も含めた地域住民からは、生活道路の整備や良好な景観の形成、耕作放棄地の発生防止に対して高評価

(1) 農家を対象としたアンケート結果



(2) 農家・非農家を対象としたアンケート結果



(3) 主な意見と対応

- ・担い手への農地集積をさらに推進して欲しい。
→土地改良区が地区の農地の出し手、借り手の情報を収集し、真岡市、市農業公社等と連携しながら、農地中間管理機構(農地バンク)を活用した農地の貸借をより一層推進できるよう県も指導、協力していく。
- ・ほ場整備事業を実施し、生活環境、交通環境が改善された。
→農地整備事業は農業用施設の整備と併せ、農村の生活・自然環境などの改善、保全にも寄与しており、今後も地域の方々の御意見を参考しながら事業を推進していく。

栃木県 農政部 農地整備課

TEL : 028-623-2364 FAX : 028-623-2378

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/g07/index.html>

E-mail : nochi-seibi@pref.tochigi.lg.jp